

変更記入例  
(飲食店用)

特定施設の構造等変更届出書

平成〇〇年〇月〇日

〇〇〇〇 殿

住所 大津市京町4丁目1-1  
申請者  
電話番号 (077) 528-〇〇  
氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名 食堂のシガ(株) 代表取締役 〇〇〇〇

排水処理施設(グリストラップ)の更新を例としてあげています。



下水道法第12条の4（下水道法第25条の18第1項において準用する同法第12条の4）の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	シガ食堂大津店	※整理番号	法に定める様式に記載する義務はありませんが、参考として、 ・事業場の業種 ・営業時間 ・従業員数 ・連絡先(担当部署、担当者、電話番号など)を記載して頂くをお願いします。
工場又は事業場の所在地	大津市京町〇丁目〇〇-〇	※受理年月	
特定施設の種類	66の6 ちゅう房施設	※施設番号	
		※審査結果	
今回届出の対象となる特定施設の種類を記載して下さい。水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2に記載の特定施設番号と名称となります。			業種 中華料理店 営業時間 11:00~23:00 常時使用する従業員数 15名 連絡先 大津店 店長 志賀花子 TEL(077)528-〇〇
△特定施設の構造（特定施設の使用の方法、汚水の処理の方法、下水の量及び水質、用水及び排水の系統）	別紙のとおり。	※備考	

- 備考1 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照させるものとする。

**\* 以降の記載については、事業場内に設置されるすべての特定施設、排水処理施設について記載してください。**

(別紙1)

特定施設の構造

補足説明

工場又は事業場における施設番号	店舗本体		←事業場における固有番号又は呼称を記入してください。
特定施設項番号及び名称	66の6 ちゅう房施設		←水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2に記載の特定施設番号と名称を記入してください。
型 式	ちゅう房施設の場合は、通常店舗本体と考えられますので、斜線を引いて下さい。 新設の施設にあつては、建物の配置図を添付して下さい。(添付資料④)		←施設の製造メーカー、名称、型式等を記入してください。
構 造			←施設の材質、構造上の特徴を記入してください。
主要寸法	ちゅう房施設の場合は、営業の用に供する床面積を記入して下さい。		←施設の主要寸法を記入してください。
能 力		150m <sup>2</sup>	←施設の公称能力、生産能力を記入できる場合は記入してください。
配 置			←特定施設の設置場所を記載してください。 工場内での配置場所がわかる図面を添付してください(添付書類⑤)。
設置年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日	←既設施設の設置年月日を記入してください。
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日	
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日	
その他参考となるべき事項			

備考 配置の欄には、当該特定施設およびこれに関連する主要機械または主要装置の配置を記載すること。

**\* 特定施設、排水処理施設等の変更(特定施設の構造等変更)については、該当する内容の変更前、変更後がわかるように記載して下さい。**

(別紙2)

特定施設の使用方法

補足説明

工場又は事業場における施設番号	店舗本体				←事業場における固有番号又は呼称を記入してください。
特定施設項番号及び名称	66の6 ちゅう房施設				←水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2に記載の特定施設番号と名称を記入してください。
設置場所					←特定施設の設置場所を記載してください。 工場内での配置場所がわかる図面を添付してください(添付書類⑤)。
操業の系統					←飲食店、旅館のみ設置の事業場は記載不要です。
使用時間間隔	操業時間：10時～23時 定休日：毎週木曜日				←特定施設の使用時間を記入してください。 変動がある場合は、その内容を記入してください。
1日あたりの使用時間	10時～23時 (13時間)				
使用の季節変動	特になし。				←特定施設の稼働率の季節変動について記入してください。
原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法及び1日あたりの使用量	食材 50kg 洗剤 0.5L				←ちゅう房施設にあつては、店舗での使用原材料等について記載してください。
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大		
	pH	6～8	6～8		
	COD	200	300		
	BOD	150	200		
	SS	150	200		
	T-N	40	50		
	T-P	5	8		
	油分	400	500		
汚水等の量(m <sup>3</sup> /日)	通常	8			
	最大	13			
その他参考となるべき事項	* 汚水量の変更(構造等変更)に該当の場合「(変更前)8→(変更後)5」などと記入してください。				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

(別紙3)

汚水の処理の方法  
【変更前】

【変更後】

補足説明

工場又は事業場における施設番号	グリストラップ	グリストラップ	←事業場における固有番号又は呼称を記入してください。通常、除害施設名になります。							
処理施設の設置場所	店舗西側	店舗西側	←施設の設置場所を記載してください(添付資料③)。							
設置年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日	←既設施設の場合は、設置年月日を記入してください。							
工事着手予定年月日	年 月 日	□□年□□月□□日	←新設の場合、工事着手予定年月日等を記入してください。							
工事完成予定年月日	年 月 日	□□年□□月△△日								
使用開始予定年月日	年 月 日	□□年□□月〇〇日								
種類および型式	Y社製10-GG	Y社製11-GG	←施設の製造メーカー、名称、型式、構造、主要寸法を記入してください。							
構造	地下型FRP製	地下型FRP製	* 新設の場合、設備の寸法、能力、能力算定の根拠、処理フローがわかる書類(図面、仕様書等)を添付して下さい(添付資料⑥)。							
主要寸法	縦1×横1.25×深さ1m	縦1×横1.5×深さ1m								
能力	0.2m <sup>3</sup> ×三槽	0.3m <sup>3</sup> ×三槽								
処理の方式	浮上分離型	浮上分離型	←排水処理施設の処理方式を記入してください。							
処理の系統	ちゅう房排水→グリストラップ→下水道	ちゅう房排水→グリストラップ→下水道	←排水処理施設における処理の流れがわかるフローを記載してください。							
集水及び導水の方法	別紙5のとおり	別紙5のとおり	←特定施設から処理施設に排水が導入され、下水道へ放流されるまでのフローを添付してください。(別紙5で重複する内容を求めていますので、別紙5に記載のある旨を記入してください)							
使用時間間隔	/		←排水処理施設の使用時間間隔、1日あたりの使用時間を記入してください。							
1日あたりの使用時間	24時間		←バッチ処理以外は、通常左記の様になります。							
使用の季節変動	変動なし		←排水処理量の季節変動について記入してください。							
消耗資材の1日あたりの用途別使用量	なし		←各処理工程毎に使用する水処理用薬品の種類と1日あたりの使用量を記入してください。							
汚水等の汚染状態及び水量	種類・項目	通常		最大		通常		最大		飲食店の場合は通常別紙2と同じ記載となります。  ←排水処理施設への流入水及び処理後の水質、排水処理量を記入してください。記入する項目は、事業場から排出される排水の状況によって異なりますが、通常は、左記の一般的な項目で結構です。また、処理前後の水質については、排水処理施設の設計値、自主管理基準値、実績値(実績値の場合は過去1年間分程度のもの)を記載してください。  * 処理量の変更(構造等変更該当の場合)、「(変更前)8→(変更後)5」などと記入してください。
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	
	pH	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8	
	COD	200	200	300	300	200	200	300	300	
	BOD	150	150	200	200	150	150	200	200	
	SS	150	100	200	150	150	100	200	150	
	T-N	40	40	50	50	40	40	50	50	
	T-P	5	5	8	8	5	5	8	8	
	油分	400	30	500	40	400	20	500	30	
量(m <sup>3</sup> /日)	8		13		8		13			
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 20kg 産廃業者にて引き抜き処理		汚泥 20kg 産廃業者にて引き抜き処理		←排水処理施設から発生する汚泥等の残さの発生量及び処理法を記載してください。					
排水の排出方法	下水道		下水道		←処理水の放流方法(放流先)を記入してください。					
その他参考となるべき事項										

備考1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置および数ならびに排出先を含め記載すること。

(別紙4)

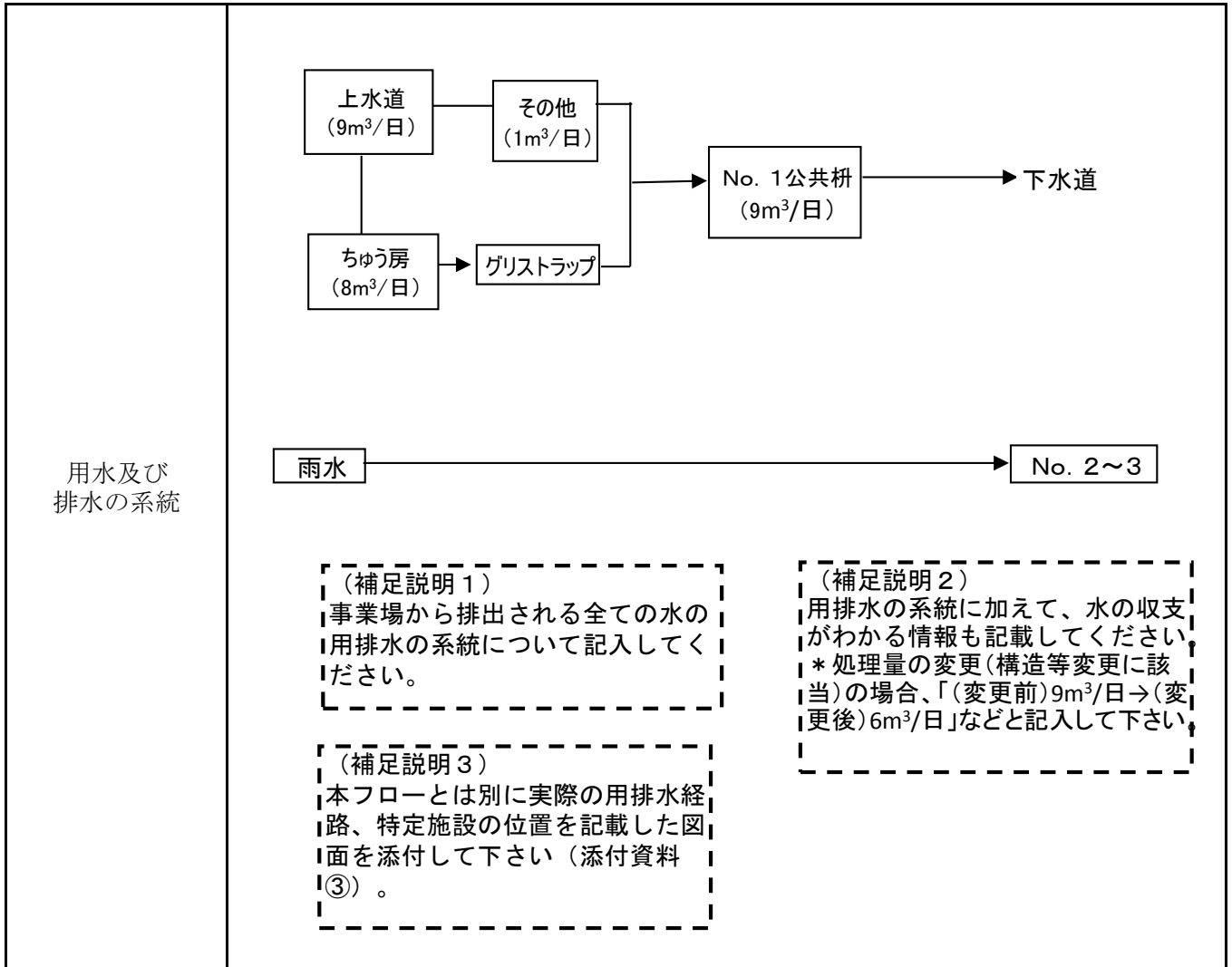
排出水の汚染状態及び量

補足説明

工場または事業場における施設番号		No. 1 公共柵 (グリストラップ及び生活系排水)		No. 2~3 排水口 (雨水のみ)		←事業場における固有番号又は呼称を記入してください。 雨水のみの排水口についても記入してください。
		通常	最大	通常	最大	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	←事業場からの排水の水質、排水量を記入してください。記入する項目は、事業場から排出される排水の状況によって異なりますが、通常は、左記の項目となります。下水道へ排除する汚水の水質は必ず記入してください。なお、雨水の排水量については、「0」(排水量に入れない)としてください。
	pH	6~8	6~8	6~8	6~8	
	COD	200	300	20	30	
	BOD	150	200	15	20	
	SS	20	30	20	30	
	T-N	40	50	15	20	
	T-P	5	8	3	5	
	油分	(変更前) 28 → (変更後) 18	(変更前) 38 → (変更後) 28	<1	2	
				雨水の場合、データ等がない場合は記載なしでも結構です。		
別紙3の「汚水の処理の方法」にも関連する場合がありますが、排水口(あるいは排水処理施設)において、排水基準が満足できる根拠を示した書類を添付してください(添付資料⑦)。						
排水の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	* 処理量の変更(構造等変更)に該当の場合、「(変更前)9→(変更後)6」などと記入して下さい。	
	9	15	0	0		
その他参考となるべき事項	下水道			公共用水域		←排水の排出方法を記入してください。

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)
		ちゅう房用	上水道
	生活排水・雑排水	上水道	1 (2)

用水の用途別に使用水、水量（通常使用量）を記載してください。  
別紙 2、3 および 4 の排水量、上記の水の収支の数値との整合性に注意して下さい。

( ) 書きで最大使用量を記入して下さい。  
\* 処理量の変更(構造等変更)に該当の場合  
「(変更前)8(13)→(変更後)5(10)」などと記入して下さい。



## 添付書類について

必要な添付書類は原則次の通りで、毎回添付が必要な場合が異なりますので、注意して下さい。  
 なお、届出の内容によっては、次の書類以外にも提出を求めるものがある場合がありますので、ご了承願います。

添付書類の種類	添付が必要な時
① 付近の見取図(周辺100メートル程度のもの)	毎回
② 事業場の敷地の範囲が明確にわかる書類	毎回
③ 事業場の敷地内の建物配置図(特定施設および汚水処理施設を赤色で囲み、用水及び、排水の系路を明示して下さい。)	毎回(別紙3および5関連)
④ 特定施設の構造図(カタログ、写真でよいが、型式、構造、主要寸法を明示すること。)(ちゅう房施設の場合は、建築図面で各部屋の配置などがわかるものが必要です。)	特定施設を新たに設置、または構造の変更を行う場合は、該当する施設についての資料を用意してください(別紙1及び2関連)。
⑤ 特定施設の設置場所がわかる図面(添付書類③でも結構ですが、建屋の2階に設置される場合などは、拡大図等が必要な場合があります。)	
⑥ 汚水等の処理施設の構造図(フローシート、設計仕様書、構造、主要寸法を明示する等して下さい。)	排水処理施設を新たに設置、または構造の変更を行う場合は、該当する施設についての資料を用意してください(別紙3関連)。
⑦ 排水口(公共枴)における排水の水質が排除基準を満足できる根拠を示した書類	毎回(排水への影響がない場合はその根拠を記載してください。)(別紙3及び4関連)
⑧ その他(別紙の様式に書ききれない場合等)	別紙の様式に書ききれない場合は添付資料を用意してください。 (例) 排水処理施設の維持管理マニュアル等(別紙3及び4関連)